

日本学術会議主催公開シンポジウム

東北マリンサイエンス拠点形成事業と 今後の水産研究のあり方

— 豊かな海へ、科学の力で —

2020年11月13日(金) 13:00-17:00

リモート開催

Zoom(登録者)、YouTube(未登録者)

一般公開

参加費無料

13:00 開会挨拶

渡辺 美代子 (科学技術振興機構)(日本学術会議 前副会長)

長野 裕子 (文部科学省大臣官房審議官(研究開発局担当))

第1部 東北マリンサイエンス拠点形成事業(TEAMS)

座長: 大越 和加 (日本学術会議連携会員・東北大学農学研究科)

13:10 プロジェクトの設立

福井 俊英 (文部科学省海洋地球課長)

13:20 プロジェクトの組織と活動概要

木島 明博 (TEAMS代表機関代表・東北大学農学研究科)

13:30 震災瓦礫・環境汚染物質の長期モニタリングから見えてくるもの

藤原 義弘 (海洋研究開発機構地球環境部門)

14:00 サケにとっての震災、そしてこれから

兵藤 晋 (東京大学大気海洋研究所)

14:30 漁業復興支援から、環境に調和した養殖へ

原 素之 (東北大学農学研究科)

15:00 水産業の持続的な発展のための海洋生態系モデリング

石川 洋一 (海洋研究開発機構地球環境部門)

第2部 今後の水産研究のあり方(豊かな海へ、科学の力で)

座長: 藤倉 克則 (TEAMS副代表機関代表・海洋研究開発機構地球環境部門)

15:45 ベントスから見た利用と保全

木村 妙子 (三重大学生物資源学研究所)

16:00 TEAMSで生まれた新たな水産研究の萌芽をいかに育てるか?

松田 治 (広島大学・文部科学省拠点委員会)

16:15 水産研究の東北水産業への貢献と期待

杉崎 宏哉 (水産研究・教育機構 水産資源研究所)

16:30 科学的知見の社会実装と水産業の復興

中田 薫 (日本学術会議連携会員・水産研究・教育機構)

16:45 全体の総括と閉会の挨拶

古谷 研 (日本学術会議第二部会員・創価大学理工学研究所)

17:00 閉会

主催: 日本学術会議食料科学委員会水産学分科会・農学委員会 共催: 東北マリンサイエンス拠点形成事業(TEAMS)・文部科学省

後援: 宮城県、岩手県、女川町、大槌町、水産・海洋科学研究連絡協議会、日本水産学会、日本海洋学会、日本海洋政策学会、マリンバイオテクノロジー学会、日本水産増殖学会、水産海洋学会、日本付着生物学会、日本ベントス学会、日本魚類学会、日本プランクトン学会、日本藻類学会、日本水産工学会、日本魚病学会、国際漁業学会、地域漁業学会、日仏海洋学会、日本貝類学会、全国漁業協同組合連合会

お問合せ

木島明博(実行委員会事務局)

e-mail: agr-marin@grp.tohoku.ac.jp

<https://www.agri.tohoku.ac.jp/teams/>